

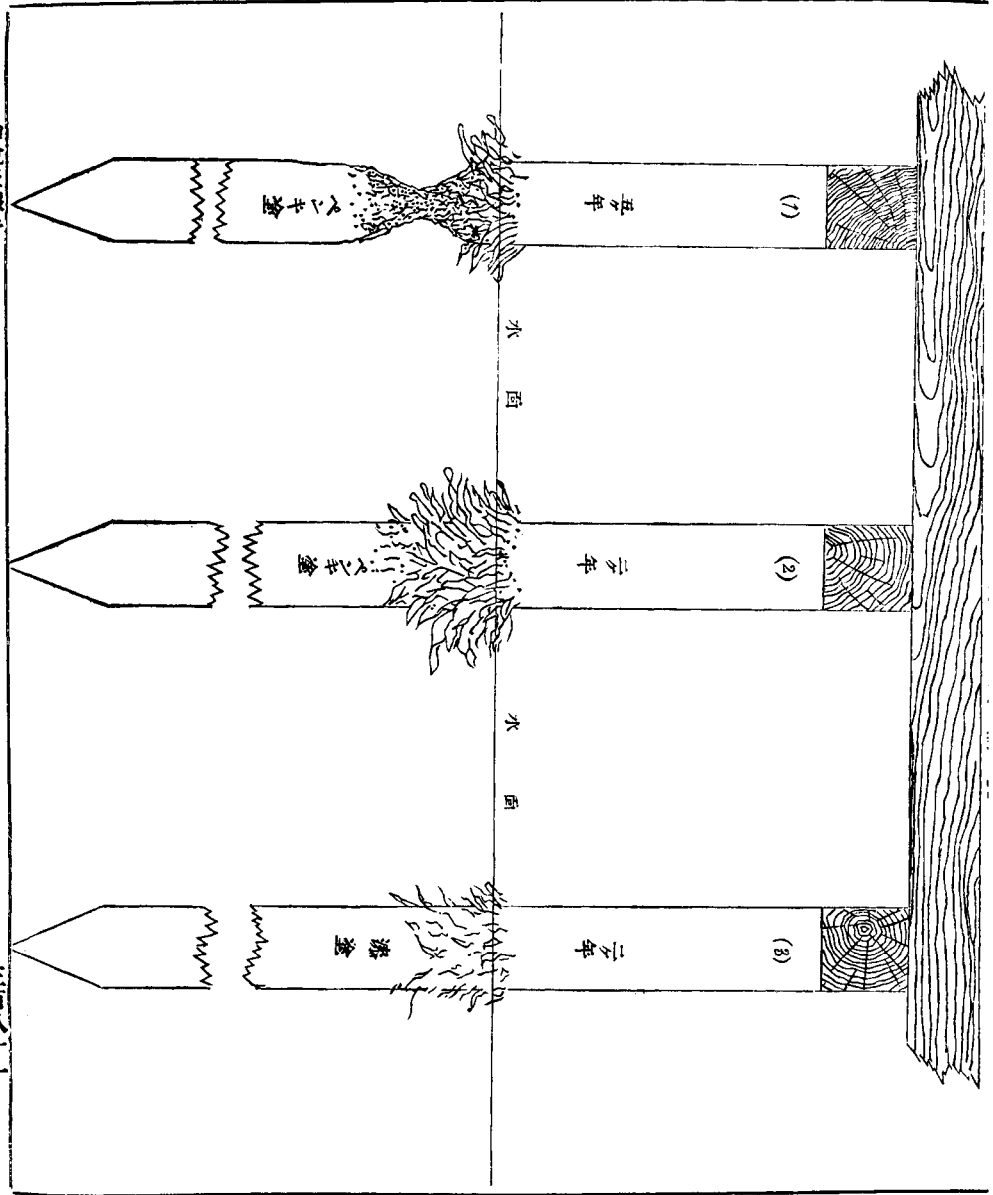
一哩二四〇至リ、一千八百八十年合衆國第十回ノ統計ヲ爲セシトキニ鐵道會社ノ數一千四百八十二、完成セル鐵道八万七千三百九十一哩、工事中ノ者一万〇十六哩ニシテ尙計畫中ニ係ル者右ノ外四万一千〇二十九哩ナリ、一千八百八十年ノ終統計表調製後六ヶ月目ニ合衆國ニ於テ運輸執業ノ鐵道九万三千六百七十一哩ニシテ地球ノ周圍ニ四倍スルノ全長ニ達シ地球上遂ニ其ノ右ニ出ツル者ナシ、

(以下次號)

北海道小樽港棧橋杭

松 井 三 郎

海水湖上スル河川ニ架スル橋梁杭又ハ海中ニ突出スル棧橋杭等ニ用ユル丸材ハ從來ノ經驗スル處コヨルニ或ハ三四年乃至四五年ノ星霜ヲ經過スルキハ腐朽其用ヲ爲サ、ルヲ以テ常ニ注意スルニ非サレハ橋梁墜落人蓄ヲ傷害シ財產ヲ毀損スル等其危險少カラサルヲ以是迄ノ經驗ヲ登錄シ本誌ニ記載スルコトナレリ即左ノ略圖ノ(一)ハ最初試ミニペンキヲ塗リ其朽否如何ヲ驗スルコト五ケ年ニシテ水面常ニ海水ノ動搖スル所ハ腐朽スルニ至ルヲ以更ニペンキ塗ト漆ト其保存如何ヲ驗ス即チ(二)ハペンキ塗ニシテ二ケ年ノ後其實況ヲ見ルニ海藻附着殆ント當ニ腐朽セントスルノ情アリ(三)ハ漆塗ニシテ築造年月ハペンキ塗ト同時ニアリト雖モ今尙依然トシテ其形体ヲ變スルコトナシ之ニ因テ之ヲ觀ルキハ其保存年限ニ非常ノ差異アルヲ察知スルコト足ル然リト雖モ未タ兩様トモ全ク腐朽年限ヲ確認スルノ窮合ニ至ラザルヲ以テ今茲ニ之ヲ確言スル能ハスト雖モ其現情ヲ以テ見ルキハ既ニ其年限ニ三四年ノ永存ヲ見ルニ蓋シ難キニ非サルヲ知ル然リト雖モ特リ其費用ノ點ニ至リテハ相倍加スルヲ免レス假令ハ橋杭壹本ヲ塗ルニ百五十叙ノペンキヲ要スルトスルキハ其費用貳拾錢内外ニ足レ



リト雖モ生漆ヲ用ユルハ凡ソ壹圓五拾錢ヲ要セサルヲ得ス然ラハ則其得失相償ハサルノ
 觀ナキ能ハスト雖モ橋杭壹本ノ保存年限ペンキニ在テハ五ヶ年ニシテ腐朽シ生漆ニ在テハ
 凡ソ十年ヲ永存スルト見爲スキハ豈些々タル塗方ノ費用ヲ惜テ全体築造ノ冗費ヲ監ミサル
 如キハ恐ラシク經濟的ニ注意アル人ノ爲シ得ベキ處ナランヤ況ンヤ人ノ尤モ恐ルヘキ忌ムヘ
 キノ危險ヲ免レ得ルニ於テオヤ然リト雖モ本文陳述スル處ハ從來ノ實驗ニ止ルヲ以テ尙學
 理的ノ應用ニヨリ完全無缺ノ好材料ヲ得ルニ至ランコト切ニ希望スル所ナリ

○天龍川ノ鐵橋ニ付質疑

杉 山 輯 吉

五月十一日出版ノ國民ノ友第五十號ニ曰ク

一ノ墮落ハ幾百人ノ死傷ニ關ス吾人チシテ汽笛ノ聲ヲ聞ク毎ニ戰々競々トラムルモノ
 ハ彼ノ天龍川ノ鐵橋ナリトス吾人ハンノ眞偽ヲ明ニセスト雖東京日々新聞ノ報スル處ニ
 ヨレハ其鐵橋ノ不完全ニシテ危險ノ分子多キハ左ノ如シ

始メ鐵道局ガ此川ヲ架橋シ終リテ試驗スルヤ其結果甚タ惡シク到底永久ノ用ニ堪ヘサル
 ノ觀アリタリ去レハ再ヒ惡キ所ヲ掛ケ替エタリト雖モ架橋ハ其柱深ク水底ニ達シタル
 ハ修繕ノ出來得ヘキニアラス去レハ多クノ危險モアラント或ル技師ハ語リタリ

吾人ハ此言ノ必ス虛聞ナランコトヲ信セント欲ス何トナレハ此言ニシテ果シテ眞ナラン
 メハ鐵道局ノ不道德不親切ハ實ニ其極ニ達シタル者ナレハナリ假令架橋ハ深ク水底ニア
 リ之ヲ修繕スルニハ時間ト金錢ヲ費スハ勿論ナレトモ一種ノ道路タル汽車乗客ノ生命ヲ
 安全ニスル爲ニハ決シテ時間金錢ノ如何ヲ問フヘキニアラス必ス多クノ危險ノ悉ク消滅